



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's Men's CLUBS

JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT

TOKYO MACHIDA SMILE-RING Y's Men's CLUB

THE SMILE-RING Chart ered in Feb.20, 2020



2023年

3月号 (第40号)

## 東京町田スマイリングクラブ

「当クラブは町田ボランティア協会に所属する公認団体です」

2023.4.3 改

### 《今月のことば》

「見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの手を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。

(ヨハネの黙示録 第3章 20節)

### 《3月号巻頭言》 為我井 輝忠



2023年もあっという間に3月になりました。このところわが東新部の活動も半年を終え、後半に入っています。それに伴って新年度への体制作りのために様々な企画が

なされ、会議も頻繁に開かれ、何かと忙しい日々が続いています。4日と5日には新年度に向けての東日本区会長・部長研修会が開催されました。

7月の新年度を迎えるに当たってわがクラブの最大の懸案事項は、三多摩クラブ(町田コスモスクラブ、多摩みなみクラブ、町田スマイリングクラブ)の合同化という問題です。わがクラブでは、会員の減少化や活動の低下という問題に直面し、何らかの形で体制の見直しをしなければならなくなりました。そのような折に、合同化の計画が持ち上がり、クラブ内で検討してきた結果何ら問題はない、進めていきたいとの結論に達しました。ただ、名称や会費の統一、例会の開催地をどうするか等々の難しさもありますが、これらの問題は乗り越えられないハードルではないでしょう。10年後、20年後を見据

### 《モットー》

『強い義務感を持つ 義務は全ての権利を伴う』

国際会長 Ulrik Lauridsen (ウルリック・ラウリドセン) (Denmark)

「輝かそう、あなたの光を」

アジア・太平洋地域会長 沈 洪銘 (シェン・チ・ミン) (台湾)

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事 佐藤 重良 (甲府 21) 「誰かのために奉仕して自分のため楽し

いクラブライフを」

東新部部长 深尾 香子 (東京多摩みなみ) 「All 東新部、始動! Change!

2022 ラストスパート、ポスト 2022 始動」

クラブ会長 為我井 輝忠 「感謝、信頼、地固め、そして成長!」

クラブ役員 書記: 尾張 日出夫 会計: 城田 教寛 担当主事: 諏訪 治邦

### 4月3クラブ合同例会プログラム

東京町田コスモスクラブ・東京多摩みなみクラブ・

東京町田スマイリングクラブ

日時: 4月19日(水) 19:00~20:45 注: 夕食無し

会場: 玉川学園コミュニティセンター 2階 1A・1B室

\* ZOOM: 東京クラブ URL

[https://zoom.us/j/4745332601?pwd=Q2VqQ0Vqc056](https://zoom.us/j/4745332601?pwd=Q2VqQ0Vqc056WlVfU3JnWWVzemlTUT09)

WlVfU3JnWWVzemlTUT09

ホスト: 東京町田スマイリングクラブ

司会: 尾張日出夫(町田スマイリングクラブ)

\* 開会点鐘: 為我井輝忠(町田スマイリングクラブ会長)

\* 今月のことば ヨハネの黙示録 第3章 20節

\* ホストクラブ会長挨拶 為我井会長

\* ゲスト/ビジター紹介 為我井会長

\* 東新部部长挨拶 深尾香子部長

\* 今月のスピーチ 「バングラデシュの今とこれから」

講師 東京YMCA池田麻梨子氏

\* YMCA ニュース・各種アピール

\* ハッピーバースデー: コスモスラブ 松香光夫さん他

えて進んでいきたいです。4月は三多摩クラブ合同例会ですが、今回は、最近バングラデシュに行かれた東京 YMCA の池田麻梨子さんに現地の様子や YMCA のことについてレポートして頂く予定です。ご期待ください。

## 4月の合同例会講師の紹介

講師：池田 麻梨子氏（東京 YMCA スタッフ）

講演タイトル：「バングラデシュの今とこれから」

講演要旨：2023年2月19日～26日、東京 YMCA ス



タッフ5名でバングラデシュ YMCA を10年ぶりに訪問。支援している NFPE 学校2校、そして水害被害を受けた地域を訪問した。10年の間にバングラデシュの GDP も上がり、識字率も高まっている。首都ダッカ市内は発展しているように見えるが、

度重なる停電や悪路、下水の不備などまだ発展途上国とも感じられた。ただ人々の生きる力や家族のコミュニティの絆の強さは日本にない豊かさだと感じた。バングラデシュと同国の YMCA の現状をお伝えしたい。講師プロフィール：大阪府生まれ。6歳の時にイギリスに行き、12歳に帰国し、千葉県で過ごす。東京女子大学卒業。2006年に東京 YMCA に入職。山手センター、米国フォレストバレーYMCA、南センター、TYIS を経て、現在、語学教育事業部に所属し、国際部の業務を一部担っている。

## 東西日本区交流会が開催される

ワイズメン東西日本区交流会が2月4日（土）と5日（日）の2日間、神戸 ANA クラウンプラザホテルと神戸 YMCA を会場に開催されました。6年ぶりとのこと。今回は、ワイズメンズクラブ国際協会創立100周年と東西両区創立25周年の2つを祝う記念の祝賀でした。およそ430名（東日本区から140名の参加）が参加され、多くの出会いと新しいビジョンを得ることが出来ました。交流会のテーマは、「語ろうワイズの未来！ともに手をとり次の100年へ」でした。オープニングは、関西で活動しているライオンズ、ロータリー、キウニスそしてワイズメンの奉仕団体の代表者がそれ



ぞれの組織、活道の状況、課題等を話し合う「奉仕団体フォーラム」の開催で、このような企画は初めてだと思います。これらの団体が手を取り合い、活動を深化させていくことが期待されます。



続いて、セレモニー、晩餐会、ワークショップ、両区が支援しているユースの活動の紹介、アジア太平洋地域の台北での100周年イベント、DBC提携締結式等開催されました。スマイリングクラブからは城田教寛氏と小生が参加しました。交流会終了後、町田コスモスクラブのお誘いで宝塚クラブの皆さんとの交流の場を持つことが出来ました。（為我井記）

## トルコ・シリアの震災支援について

去る2月6日、トルコ南部のシリア国境近くで発生したマグニチュード7.8の大きな地震があり、地震及び関連する被害によって、延4万人以上が亡くなる等の最大級の被害が発生しました。この大災害に鑑み、東日本区では、日本 YMCA 同盟の募金活動に賛同した「トルコ・シリア大地震緊急支援募金」が実施されました。これに応じて当クラブとしても3月21日に東日本区本部事務局宛に募金を送金致しました。

『エルトゥール号事件』トルコは世界の親日国として知られていますが、1890年（明治23年）に日本近海で沈没したトルコの親善使節を載せた軍艦エルトゥール号の乗員を救出し、二隻の軍艦でトルコに送

り届けたことに由来します。その後、日露戦争でトルコと犬猿の仲のロシアが日本に大敗して以来トルコの日本員が定着した訳です。(尾張記)

## 第 26 回東日本区大会が開催されます

ホストクラブは甲府 21。あずさ部の各クラブの支援を受けて開催されることとなります。こうしたイベントで大勢が集まるのは、201 か9年のオリンピック記念青少年センター以来、実に4年ぶりとなります。

人が集えば会話があり、そこに笑顔と、勇気と、感動が生まれます。あなたが「置き忘れたもの」をどうか取りに来てください。(甲府 21 ワイズメンズクラブのホームページより)

## 多摩地区3つのクラブの合同化へ

### 向けての話し合い

昨年から多摩地区にある3つのクラブ(東京町田コスモス、東京多摩みなみクラブ、東京町田スマイリングクラブ)が合同化へ向けての話し合いが行われています。これは会員の減少化ということだけでなく、合同化によってさらに活動の充実化を図るものです。ど

のクラブも合同化に向けては賛成の意を示していますが、各クラブとも多少の温度差はあります。

3月15日(水)に合同化に向けての3クラブの話し合いがありました。どのクラブも歴史、活動内容、構成人員等違いがあるので、名称や会費、役員の選出等々どうするか課題が山積みしています。しかし、合同化への道筋は明確になりましたので、今後協議を重ねていきたいと考えています。話し合いはさらに続いて行われていきます。(為我井記)

(第2回会合:3月29日(水)18時30分より玉川学園コミュニティセンター多目的室2(2階)にて開催)

## “工場疎開”の思い出

今から78年ほど前の昔、“疎開”と言う、大規模な引っ越しがあったことをご存知でしょうか?

今では“疎開”は死語になりましたが、太平洋戦争中の出来事です。都会での空襲を避けて地方に引っ越しすることを疎開と言い、軍需工場等が空襲を避けて従業員の家族ぐるみ地方に引っ越しすることを“工場疎開”と言いました。私は父親が軍需関係の工場に務めていたので群馬県富岡市の郊外に工場疎開をしました。

私の最も古い記憶は昭和19年前後から始まります。夜中に母に背負われて遠くで真っ赤に燃える空を眺めていました。周りで「高崎が空襲だ〜!」「あれは東京だ〜」等と叫んでいたことだけは良く覚えています。

それは昭和20年はじめ頃の記憶だと思います。

もの心が付いた頃、養蚕が盛んな土地なので蚕のサナギを油で揚げたものをお菓子として食べていたことを覚えています。市の郊外は農産地でしたので、農家の方と衣類などと交換してお米を入手していました。

それでは不足父の実家(新潟)からお米を頂いていました。小学校入学前の幼児でしたが、小さなザックにお米を背負ってお手伝いをしたことを覚えています。

昭和23年に富岡市内の小学校に入学しました。学校の帰りには鍛冶屋さんが馬の脚を抱えて蹄鉄を取り替えている光景や、傘屋さんが店頭で傘を組み上げる作業をしているところ等を覗き見しながら下校しました。

今でも時々思い出す数々の懐かしい体験の思い出と共に、昭和24年の春に東京の田端に引っ越して長かった疎開生活が終わりました。(尾張記)

「百花繚乱」 町田市内で見かけた可憐な花々を紹介します。



スノードロップ



水仙



梅

YMCA NEWS

YMCA は様々な事業を行っています。中でも基幹的な事業は、過去は子どもたちの野外活動（キャンプ）でした。他には専門学校。予備校などの多岐にわたって行っていました。現在は、その事業は縮小され参加者の低年齢化が顕著です。

先日、日経新聞の私の履歴書に作曲家の村井邦彦氏の掲載がされていました。少年時代に野尻湖に行ってたくさんキャンプソングを歌ったと、記載があります。むかでワイズの方にはお馴染みのキャンプソングが列記されていました。YMO や荒井由実を生んだ作曲家ですが、その原点は少年時代に参加した YMCA キャンプであると述べられています。キャンプでの歌は、主に富岡正男氏の作詞作曲で作られました。富岡氏は東洋英和の国語の先生と聞いていますが、学校の聖歌隊などの指導も行い、まるで音楽の先生のような感じとも聞いています。その歌は「トミソング」と呼ばれ野尻キャンプ場で歌い継がれています。

(諏訪 治邦記)

これからの予定

- ① 2023年 4月 19日(水) 三クラブ合同例会 19:00~20:45
- ② 2023年 5月 1日(月) コスモスクラブ合同例会 18:30~20:00
- ③ 2023年 6月 3日(土)~4(日) 東日本区大会 会場：APIO 甲府

- 例会日：第3水曜日 19:00~20:30 会場：まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8
  - 第2例会：第1土曜日 13:30~15:00 会場：まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8
- 東京町田スマイリングワイズメンズクラブ：事務所：〒195-0061 東京都町田市鶴川 2-11-10-202 為我井輝忠気付  
例会参加等申込先メール：howari3119@Kib.biglobe.ne.jp 電話：090-2248-8609

★会費は下記の口座にお振込下さい。

会費振込口座：城南信用金庫、玉川学園支店（支店番号：075）

普通預金 口座番号：155093 口座名義：トウキョウマチダスマイリングワイズメンズクラブ